

経済産業委員会

令和5年2月28日（火）

午前11時20分～午後2時00分

議会第3会議室

【出席委員】 実松尊信委員長、江原新子副委員長、中島妙子委員、江口善己委員、  
稲葉嵩広委員、御厨洋行委員、松永幹哉委員、千綿正明委員、  
中野茂康委員

【欠席委員】 なし

【委員外議員】 なし

【執行部出席者】

- ・ 交 通 局 志満交通局長
- ・ 農 林 水 産 部 川副農林水産部長
- ・ 農 業 委 員 会 事 務 局 古賀農業委員会事務局長
- ・ 経 済 部 大野経済部長  
ほか、関係職員

【案 件】

- ・ 付託議案について

○実松委員長

皆さんお疲れさまでございます。ただいまから経済産業委員会を開催いたします。

委員会の審査日程については、タブレットに掲載の審査日程案のとおり進めたいと思います。

また、付託議案の審査のために、現地視察を希望される場合は、審査終了までにお申出ください。現地視察は、議案に関連し、賛否の判断に関わるような場合などに実施することに留意いただきますようお願いいたします。

それでは、交通局に関する議案の審査に入ります。

まず、第14号議案について、執行部に説明を求めます。

◎第14号議案 令和4年度佐賀市自動車運送事業会計補正予算（第2号） 説明

○実松委員長

ただいまの説明について委員の皆様から御質疑をお受けいたします。御質疑がある方は挙手をお願いいたします。

○千綿委員

以前から言っている庁舎の清掃じゃないけど、全面的なやりかえがどうなっているのかと、コロナになって、ずっとそのままになっていると思うんですが、そこら辺は何もしていないということかな、今年に関して言えば。そこら辺の状況を説明いただけますか。

○小林副局長

確認ですけど、庁舎の建て替えについて……

○千綿委員

建て替えは、前言ったように民間活力を利用してということで話を進めているということだったけれども、あまりにも外観がひどいから何とかしなきゃいけないですよと私一般質問でも言っていますよね。だから、それについて取り組まれたか取り組まれていないのかも含めて。

○小林副局長

庁舎の補修につきましては、不具合が出てきた時点で、その都度、対応している状況でございます。今年度につきましては、洗車関係の機械、関連機械の故障がありましたので、そういったところでの補修をしているところでございます。

○千綿委員

だから、私が言っているのは、前も一般質問で言ったように、働いている人たちが誇りを持って働けるような外観を何とかしたほうがいいんじゃないかということはずっと提案させていただきよったわけですね。お金がないのは分かります。コロナで収益も減った、軽油のお金も上がったというのは分かるんですけど、少しでもしてやったほうが、バスの運転士も、あそこの見た目があのままじゃ、僕は非常にまずいというのを以前から言っているんで、何かしてやったほうが少しはいいんじゃないか、それは分かりますよ。ただ、私は民間で建て替えのやつが進んでいるのかどうか分かりませんが、そこはもう少し取り組むべきじゃなかったかなという気はしなくもないので、局長が積極的に発言されようとしていますので、よろしくをお願いします。

○志満局長

御質問のとおり、千綿委員も含めて、多くの議員のほうから、建て替えは建て替えで分かっているけれども、外壁も含めた建物自体が相当老朽化して、見栄えも悪いし、汚いという表現もありましたけれども、それはちょっと私も失礼な発言とは思いますが、そう言われても仕方ない部分もございました。ただ、実際、先ほど副局長が言ったように、部分的な運行、運営に必要な補修は適宜行っております。ただ、どうしても外壁となると、足場を組んで、相当な表面積もありますので、2,000万円以上かかると積算しております。なかなか2,000万円の外壁修理費を捻出するというのも結構大きなものですから、庁舎の建て替え計画がありましたので、そこで大きな金額で外壁補修よりも建て替えのほうを優先して、建て替えができた暁には、あらゆる補修等も軽減できますので、外壁工事については、部分的には補修はしておりますけれども、全面的な補修はちょっと控えたという部分はございます。以上です。

○実松委員長

ほかに御質疑ございませんでしょうか。

○御厨委員

水曜と日曜日のゼロ円の分ですね、6,600万円の県の補助というふうにお示しいただきました。この流れといいますか、どのようにしてそれが決定したのか。要は県が水曜、日曜というふう指定して、金額も6,600万円でやってくれというふうな指定をしたのか、そのプロセスを教えてください。

○小林副局長

今、6,600万円という金額がありましたけど、これは3つの補助金の合計が6,600万円でございます。御質問のさがバスまるっとフリーDAYという、毎週水曜日と日曜日の利用を無料にするという補助につきましては、2,900万円ほどでございます。

この経緯につきましては、コロナ禍で疲弊しているバス事業者を支援するためということと、できるだけ公共交通機関を使って、自家用車の利用を少なくするというような、県の考えを持ちまして、実施されているものでございます。昨年の10月に2日間、佐賀さいこうフェスに合わせて、同じような事業がありましたが、今回は、県内全域を含めまして、県内で降りた場合に水曜日と日曜日に無料とするというスキームで始まったものでございます。

補助金の積算につきましては、コロナ前の令和元年度の経常収益をベースにしまして、令和4年度の経常収益の見込みを算出して、実際今回、1月、2月の水曜と日曜日で合計17日間実施しましたので、年間の運行日数365日で割戻しまして、それに準備経費として10%を加算した金額ということで、先ほどの2,900万円という金額となっております。

○御厨委員

分かりました。まだやったばかりなので最終的なのは出ていないと思うんですけども、費用対効果と申しますか、人数的にどうだったかというのを分かればお示してください。

○小林副局長

おとといの日曜日で、一応この事業、1月、2月の水曜、日曜日ということで、17日間終わりました。この間、市営バスを利用いただいた人数につきましては、約18万人利用していただいています。内訳としましては、水曜日が8回で約10万人、日曜日が9回で約8万人となっております。

費用対効果につきましては、12月の金額をベースに、1月であれば、水曜日が4回と日曜日が5回、合計9回やっておりますので、12月の1日の収益から見まして、9日間が無料になるということで積算した場合、約400万円程度の減収を見込んでおりましたが、実際には、1月の実績では100万円程度の減収に落ちついておりましたので、若干水曜、日曜日以外でお客様が乗っていただいている部分があるのかなというふうに捉えているところでございます。

○御厨委員

最後に1つだけなんですけど、これを機に今後バスの利用というのをぜひ促進していた

だきたいと。まずコロナで困っているからという県の分も分かるんですけど、ぜひ特に市営バスを使っていたきたいと思うんですけど、今後使うような仕組みは何かありましたか。

○小林副局長

来年度のアリーナオープンに向けまして、新たなデジタルチケットを予定しております。それは佐賀市城内のほうからSAGAサンライズパークまでを、通常乗り換えて行く場合には680円ほど往復でかかりますけど、1日乗り放題で350円で行き来できるというようなデジタルチケットも準備しております、そういったところで利用者の増加に取り組んでいければと思っております。

○志満局長

補足ですけれども、今回、県のほうの事業で、まるっとフリーDAYというか、水曜日と日曜日を無料にさせていただいたということで、逆にこれまでバスをなかなか利用しなかったとか、利用する機会がなかったとか、そういう方々が新たにバスを利用して、バスって意外と便利だねとか、今回を契機に、ただだったんだけど、有料の日も乗ってみようとか、かなり新たな顧客の掘り起こしとか、そういうバスに乗るきっかけというのが私はできたと思っています。現に今報告したとおり、平年ベースよりも4割から6割近く乗客が増えていますので、この機会にせつかくバスの利便さを知った方、発見した方をうまく今度は恒常的に取り込むとか、そういうことが必要になっております。それは言ったように、バスで新たなそういう商品を盛り込みながら、バスの利便さを分かった人に引き続き利用していただくような仕掛けを、新たな商品の開発とともに、これは今年度以降、続けていきたいと考えております。もちろんサンライズパークができて行き来する人が増えるというのもありますけれども、バスそのものの利用の掘り起こしを引き続き交通局としても行っていきたいと考えております。

○千綿委員

さっきの説明で、17日間の利用者は365分の17を割って積算しているので、要するに人数掛ける運賃じゃないということですかね。そういう感覚ですか。先ほどちょっと局長が言われたように、かなりの人数が増えたという話を私も聞いています。結構満員だったという話も聞いていますので、それは雪の日だって、満員で乗られんやったという話も若干聞いていますので、結果的には、そしたら1人単価は通常の単価よりか安くなっているという認識でいいんですか。県の3,000万円の中、3,000万円来ました、増えた分の丸々その運賃掛け人数ではないという認識ですか。

○小林副局長

委員おっしゃるとおり、実際に利用された人数ではなくて、今年度の経常収益の見込みを令和元年度の収益、決算額に割り戻したと、17日間ということで365分の17を掛けまして、準備経費ということでプラス10%いただいているという内容でございます。

○千綿委員

僕は実はネットで県の広告を見たので知ったんですが、そういうのがあるとき、例えば、1月からあるのであれば12月ぐらいから広告を打たないと、なかなか広がらないと思うんですよ。交通局も逆に、仮に広報をお願いできるのであれば、例えばいろんな職員もSNSをやっている人がおるじゃないですか。そういった人で拡散してもらって広げるという方法しかないと思うんですよ。今、既存のオールドメディアの広告は激減していますので、SNSとかで上げていくしかないと思うので、県とまたそういう総括の会議とかあれば、そういったことを提案して、なるべく多くの人に広報していただくためのSNSの活用とか、そういった提案をぜひしていただければですよ。知らんやったという人が中にはおるわけですね。ネット広告も、私はそこで見たんですけど、これはもうちょっと広めたらよかったのになという気はしましたので、例えば1月からするのであれば12月から広告を打って、1月と2月やりますよというようなやつを広報を使ったらいいんじゃないかなというのを県にも言っていただければと思います。

○小林副局長

今、千綿委員おっしゃったように、今回、最初の1月1日だったり、4日の水曜日だったり、その辺は利用者が余り多くありませんで、だんだんとマスコミ等で取り上げられていく頻度に従って利用が増えてきたということがありましたので、おっしゃったように、早めに周知、広報を強化しておれば、もう少しまた違った内容になったかもしれません。来年度、また県のほうが1月に1か月分、予算を計上されているというふうにお伺いしますので、来年度は今言われたのを参考に早め早めの周知に努めたいと思っております。

○江口委員

市営バスの補正の話ですけれども、ちょっとそれから少し離れますけれども、今回、今出ております関連ですから、佐賀市営バスとしては3,000万円ということでしたね。今回、利用されたように、さっきも話が出ましたが、久しぶり、50年ぶりに市営バスのいっぱいになって入られなかった、昔思い出したという人が結構おられましたね。ということですが、中には唐津まで行った、鹿島まで行ったという人もいますよ。そこで市営バス、昭和バス入れて、3,000万円が全体的に幾らぐらい膨れたんでしょうか、そのことは御存じですか。

○小林副局長

県の予算の総枠としては1億7,000万円と聞いております。事務経費も含めてということだと認識しております。

○江口委員

昭和バス、祐徳バスあたりは路線が長いから、多少はそうだったかも分かりませんが、

○稲葉委員

関連なんですけれども、バスまるっとフリーDAYですかね、ふだん通勤、通学とかで使われていた方が乗れなかったという、オーバーツーリズムの問題ですね。こういった苦情というのは市民の方からなかったでしょうか。

○交通局職員

それに関しては、うちが増発を後追いさせておまして、そういう苦情がなかったという実績があります。

○実松委員長

ほかに御質疑ございませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

御質疑もないようですので、交通局の職員は退室いただいて結構です。

◎執行部入れ替わり

○実松委員長

それでは、農林水産部、農業委員会に関する議案の審査に入ります。

まず第10号議案について、執行部に説明を求めます。

◎第10号議案 令和4年度佐賀市一般会計補正予算(第10号) 説明

○実松委員長

ただいまの説明について、委員の皆様から御質疑をお受けいたします。

○千綿委員

まず、97ページ、県のさが園芸生産888億円推進事業の1,100万円の残ということは、以前私言ったことあるんですけど、せっかく県の補助があるんだから、来年度に、例えば受けるような人たちは前倒しでどんどんやっていったほうがいいんじゃないかということを書いていたんですが、要するに申込みがなかったという理解でいいんですかね。

○山田農業振興課長

前倒しについては、一応令和4年度で10件行っております。できる範囲ですね。

○千綿委員

それで1,100万円も。

○山田農業振興課長

そうですね、やっぱり入札による減額とか、あと逆に前倒ししたり、あと取り急ぎも2件ほどありましたけれども、そういったもので。

○千綿委員

いやだから、例えば1,100万円仮にあって、ハウスとか大きいやつは多分入札残とか結構出ると思うんですが、例えば、施設園芸の管理機のやつとか、それから野菜で使うやつとか、そんなに金額は高くないわけだから、例えば申込みがあっていたら前倒しするとかいうのはできない。そういうのはできないんですか。だから、ビニールハウスが2,000万円とかかかるじゃないですか。そういう大きいやつじゃなくて小さいやつを前倒しでやっ

ていくということはいけません。

○農林水産部職員

委員おっしゃるとおり、金額があまり大きくない機械について、要望のあった分については前倒しのほうを行っている状況でございます。

○千綿委員

これは県にも言ってほしいんですけど、農業者からすると、新しい園芸作物をやるときに、農業技術と販路というのがセットなんですよね。結局、販路がないと幾ら新しい作物を作っても、なかなか販路がないと結局市場に持っていく、先進農家は市場に持っていくことを捨てるというんですよ。わかりますか、捨てる。市場は捨てるどころという認識なんですよ。だから、販路がないと駄目なので、そこら辺のことも、ハードだけじゃなくて、せっかくこれをやるのであれば、販路を県とか市とかで努力する、例えば大分だったらタマネギを今取り組んでいますよね。八代はブロッコリーに取り組んでいます、大産地にしようとして頑張っておられるわけですよ。そういうことをやっていかないとなかなか伸びないと思うので、そこは検討していただきたいなと思います。

2点目ですが、多面的機能支払事業なんですけど、国の減額に従ってという説明があったと思うんですけど、多面的機能については、事業計画があって、一方的に削られたということですか。

○石丸農村環境課長

まさしくそのとおりでございます、一方的に毎年削られております。3段階ありますけれども、維持と協働については100%、長寿命化については76%ほどということになっております。恐らく国の考えている理由としましては、200万円以上については、別事業でやりなさいということで、そういうことが根底にあるかと思っております。

○千綿委員

そしたら、そういった組織の中で計画を立ててあるでしょう。例えば、5年計画とかで立ててあるじゃないですか、支障が出るんじゃないですか。

○石丸農村環境課長

できない部分も出てきますので、そこは計画自体を見直して、その次の5年間、5か年計画の中で取り組むとか、そういうことをやられております。

○中野委員

95ページです。農業経営収入保険制度加入支援事業費補助金、この事業が始まりましてから、今回、補助金が出るようになりましたが、なかなか加入率が少ないようですが、18%という説明がありましたが、その加入率が少ない理由が分かりましたら。

○山田農業振興課長

佐賀市が18.5%ということで、県の平均が調べましたら、令和4年度は28.9%ということで、10ポイントほど低いんですけども、これについてはいろいろ共済組合と連携して、

この制度の周知を行っております。加入率については18.5%と低いには低いんですが、令和2年度と比べると、令和2年度の加入率が11%ですので、そこからすると7.5ポイントほど上がっております。ですので、今後も共済組合と連携しながら、制度の周知を図っていきたいと思っております。以上です。

○中野委員

この制度は農家の方が災害時の収入減少を補うという形でございますので、今後、PRを拡大していかなければならないと思いますが、その対策が何かあったら。

○山田農業振興課長

それについては、市としては市報とかホームページ、あとは共済組合と連携した取組ということで、共済組合が加入促進のため、農家を戸別訪問される際に制度を載せたチラシを同封したり、あと、生産組合長会議とか作物部会研修会、それと共済組合が主催します青色申告研修会ですね、これは収入保険制度は青色申告しないと対象になりませんので、そういった場で市の支援制度の説明を、ちょっと一応、来年度はまだ当初予算で、補助についてはまだ上げている時点なんですけれども、制度自体をそういった形で周知していきたいと思っております。

○中島委員

1点は、先ほど中野委員がおっしゃった収入保険制度の件だったんですけれども、今お聞きしましたので。

あと、この1つ上の経営開始資金補助金についてなんですけれども、要件を満たせず対象者が減ったという説明があったんですけれども、希望者がいたけれども、要件、ハードルが高くて対象外となったということなんでしょうか。

○山田農業振興課長

要件に保証人をつけるというのがありまして、それを満たせずに申請できなかつたり、あと農業外の仕事を続けられるとか、それも雇用保険とかの対象になると、資金が取れなくなつたりしますので、結果的に利用できなかったというのと、あとそのほかでいくと、運転資金の借入れができないとか、あとこれは令和4年度中の就農が対象なんですけど、次年度以降に就農するから次年度また考えたいとか、そういった方がいらつしゃって、この減額がこのような状況になっております。

○中島委員

例えば、この要件を少しハードルを下げたら、もっと対象者に支援が行き届くということとは考えられるんでしょうか。

○山田農業振興課長

国の制度なので、その辺はいろいろ要望者の意見を聞きながら、できるだけ多くの方が利用できるように、国に対しては要望していきたいと思っております。

○実松委員長



よろしいですか。ほかに御質疑。

○江口委員

園芸888運動、ハウス施設の補助ですけれども、新規就農者で、できるだけ経費を安くするために中古を分けてもらって整備するという計画のようですが、これは対象になりませんか。

○山田農業振興課長

中古ハウスの補助も長寿命化対策というのがありまして、一応補助対象になりますけど、今まであまり実績がない状況で、なかなか中古ハウスの評価というのが難しいということで、そこでちょっとなかなか進まない状況であります。

○江口委員

計画者からちょっと相談を受けましたから、またそのことについて、場合によっては御相談します。以上です。

○実松委員長

ほかに御質疑ございますか。

○松永幹哉委員

95ページ、さっきの上の経営発展支援事業費補助金、先ほど話のあった2,000万円の減額なんだけど、これはいつからの事業で、それから実際に当初の予算から幾ら余っているということですか。

○山田農業振興課長

経営発展支援事業については令和4年度からの事業になります。令和4年の6月補正で予算を上げたものでございます。一応、当初予算額としましては約2,800万円上げておりまして、支出見込みとしては800万円ということになっております。

○松永幹哉委員

2,000万円残ったというのは、補正で上げた上に残したというのは何が悪かったの。

○山田農業振興課長

一応5名分上げていたんですが、結局、申請された方は2名ということで、申請まで至らなかった3名の方は、1人は令和5年度に対象となる施設を建設するということになりました。それともう一人の方は、就農のスケジュールをまた見直したということで、令和4年度中の就農が難しいと。それともう一人の方は、別の補助制度を使うということになって、この補助制度を辞退されたというような状況であります。

○松永幹哉委員

鳴り物入りじゃないんだけど、補正でやったということはどうしても必要なんだという思いでつくったんですよね。それで、それが、いやもう要らないよということは、どうしてそういうふうになるのかと。当初の計画が甘かったのか、説明が甘かったのか、あるいはそれを明許繰越できなかったのか、今年もやるという話なんだけれども、2,000万円を

残したということは、実際にどういうふうになっているのか。

○山田農業振興課長

この事業が今年度、令和4年度から始まった事業ということで、なかなか最初の辺が詳細が示されていないというのもありまして、一応ある程度概要の部分で利用できるような方を予算として上げていたものですから、本当申し訳ないですけど、2,000万円、ちょっと大きな金額かと思いますが、余ってしまったということで、今後は内容も大分固まってきたので、きちんとその辺説明しながら、要望を受けていきたいと思っております。

○松永幹哉委員

まさにそのとおりですよ。だからといってこれを使わないんじゃないかと、有効活用するような説明と計画を指導するのが、本来の一番最初の取組だと思うんだよね。だから、そこはしっかりと、これはどうして残したのというふうになるわけよね。足りないというほうがよっぽど後継者支援になるわけだから、そこは今後は徹底してください。説明もです。

○実松委員長

ほか御質疑ございませんね。

(「なし」と呼ぶ者あり)

御質疑もないようですので、農林水産部、農業委員会の職員は退室いただいて結構です。

そして、経済部の説明がございますので、1時半から再開したいと思います。

◎午後0時27分～午後1時28分 休憩

○実松委員長

それでは、経済部に関する議案の審査に入ります。

まず第10号議案について、執行部に説明を求めます。

◎第10号議案 令和4年度佐賀市一般会計補正予算(第10号) 説明

○実松委員長

ただいまの説明について、委員の皆様から御質疑をお受けします。御質疑がある方は挙手をお願いします。

○千綿委員

プレミアム商品券の件ですけれども、スーパーアプリと連携すると説明が多分あったと思うんですが、スーパーアプリの完成時期とか、そこら辺詳細を教えてください。

○樫木商業振興課長

スーパーアプリにつきましては、一応3月いっぱい第1弾というか、出来上がるということを知っておりますので、その後、連携ということになるかなと思っております。

○千綿委員

実はマイナンバーカードも、今ずっと2月いっぱいまで普及されて、マイナポイントの

延長がされていますよね。そこら辺の連携とかは考えられないのか。せっかくマイナンバーカードをつくって、口座のひもづけとかやられているじゃないですか。そこら辺の連携とかを何か考えられんとですか。一層進むかなという気がするんですが、そこら辺の議論とかあっていないのか、教えてください。

○樺木商業振興課長

地域振興券の実施につきまして、マイナンバーカード関係と連携するという事は検討しておりませんでした。この地域振興券事業につきましては、なるべく早い時期に事業のほうを行いたいというふうに考えておりますので、できる部分の最大限について連携していきたいというふうに考えているところでございます。

○実松委員長

よろしいですか。ほかに御質疑ございませんか。

○御厨委員

8番の資料107ページで、委託料、温泉の860万円の増ということで説明がありました。これは燃料の高騰というふうに説明がありましたけど、これは全てが燃料費に充てられる分の金額なんでしょうか、それとも高騰等により経営が傾いてそこに充てられる分なんでしょうか。その辺ちょっと教えてください。

○溝上観光振興課長

総額860万円の増額をお願いしております。指定管理料にそれぞれ430万円ずつ増額して、不足する分ということで、その分を措置しようと、要求しております。詳細の内訳を言いますと、衛の湯の430万円のうち、電気料金相当分が約200万円、重油、燃料の分が230万円となっております。

それと、やまびこの湯が、電気料金の増額分が330万円、それと重油燃料の分が70万円、それとガスも使っておりますので、ガスの分が30万円、それぞれ前年の実績と比較しましてこのままだと不足するということが予想されますので、その分について今回追加をお願いしているということでございます。以上でございます。

○中野委員

107ページ、熱気球大会開催費ですね。設備等整備委託料で、今回の説明では土砂の処分がなかったということですが、以前、処分の場所等でいろいろと議論がなされたので、処分がどのようになされたのかと、されなかった理由をお願いします。

○溝上観光振興課長

この予算は8月補正にて予算措置していただいた分になりますけれども、嘉瀬川河川敷の復旧工事、堆積した土砂の取扱いということで考えておりました。一応有料での処分ということで予算を要求させていただいておりましたけれども、まず土砂が出ましたが、会場内での敷きならしですね、そこでならずというのと、舗装の下地材として活用するというのをまず行いました。その後、それでも残った土砂はございましたけれども、土質の調

査を行った結果、有明海沿岸道路のほうに受け入れていただけるということになりましたので、有明海沿岸道路の工事箇所の方に運ぶということで処理を行っております。ですので、そこで受け入れるために何か処理して渡さなきゃいけないということではなくて、運搬費だけの予算で済みそうですので、処分料というものが全くかからなかったということで、この分、減額するということになっております。

○実松委員長

よろしいですか。ほかに御質疑ございますか。

○稲葉委員

プレミアム付地域振興券発行事業の委託料の内訳の詳細を教えてください。

○樫木商業振興課長

まずプレミアム分というのが1億6,500万円ほどございます。あと、コールセンターの運営や事業の管理などにつきまして大体2,500万円ほどと。あと、電子券の決済手数料とか利用者の説明会などを行いますのが1,900万円ほどと。あと、市民の方か事業者の方に向けた広報というのを非常に力を入れていかないといけないかなと思っておりますので、そこら辺が1,400万円ほどと。あと、紙券につきまして換金の費用がいろいろかかってまいりますので、そこら辺が1,000万円ほどと、あと電子券のシステムの手数料というのが800万円ほどといったところが大きなところでございます。

○稲葉委員

昨年の、ちょっと記憶が定かではないんですけども、大体同じような予算配分という感じですか。

○樫木商業振興課長

昨年の分とやはり事務費的には発行数を増やしていますので、その分増えているということはございますけど、中身の割合的なものというのは、そう変わってはいないのかなというふうに思っているところでございます。

○実松委員長

よろしいですか。ほかに御質疑ございますか。

○稲葉委員

観光振興課にお伺いしたいんですけども、今年度補正予算で6,800万円ついた旅行商品開発事業の支援事業があったじゃないですか。あれは補正の増減は特に発生していないんでしょうか。

○溝上観光振興課長

稲葉委員がおっしゃった予算につきましては、ここでも上げておりませんが、今も継続して販売等を続けております。全て使い切れるかどうかということは、ちょっとまだ決算が出ていませぬので分かりませぬけれども、最後まで、今まだ売出し中ですので、売れるように広報等もまた改めてやっていきたいと今考えているところでございます。補

正の計上はございません。

○実松委員長

ほかに御質疑ございますか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

質疑もないようですので、経済部の職員は退室いただいて結構です。

◎執行部退室

○実松委員長

付託議案の審査に関して、現地視察の御希望はございますか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

なしですね。それでは、このまま採決に移りたいと思いますが、よろしいでしょうか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

当委員会に付託された議案の審査を終了し、採決に移ります。

それでは、まずお伺いします。当委員会に付託されました議案について反対意見はございますか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

反対意見はないようですので、可決すべき議案について一括して簡易採決を行いたいと思いますが、御異議ございませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

御異議なしとのことですので、そのように採決します。

お諮りします。当委員会に付託された第10号議案及び第14号議案について、可決することに御異議ございませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

御異議なしと認めます。よって、第10号議案及び第14号議案は可決すべきものと決定しました。

以上で当委員会に付託された議案の採決を終了します。

次に、連合審査会の開催について連絡です。

一般会計の当初予算、第1号議案の歳入関連部分の審査の取扱いについては、総務委員会付託となりますが、議会運営委員会を通じてお知らせがっておりますとおり、審査については、3月14日火曜日の本会議散会后、4常任委員会の連合審査会で行う予定となっております。連合審査会は、各常任委員会で、その開催についてお諮りする必要があるため、3月14日火曜日の本会議散会后に、第3会議室で委員会を開催し、連合審査会の開催と審査日程を決定していただいた後、大会議室へ移動して、連合審査会という段取りになりますので、よろしくお願いたします。

次に、来年度の先進地視察についてですが、3月17日金曜日の先議分以外の議案の採決まとめの後に協議したいと思っておりますので、委員の皆様におかれましては、テーマや候補地

等について検討いただきたいと思ひます。

なお、当日は御自身のスケジュール確認ができる手帳などを御持参いただきますようよろしくお願ひいたします。

次に、本会議での委員長報告についてはいかがでしょうか。

(「委員長一任」と呼ぶ者あり)

やるやらないも含めて、正副委員長に一任ということによろしいでしょうか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

最後に、委員会の会議録公開に伴ひまして、委員会における字句、数字、その他の整理についてお諮りします。本委員会の会議録につきまして、字句、数字、その他の整理について、委員長に委任されたいと思ひますが、御異議ございませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

御異議なしとのことですので、委員長に委任することに決定しました。

それでは、これで経済産業委員会を終了いたします。お疲れさまでした。

令和 年 月 日

経済産業委員長 実 松 尊 信